

店頭から
「こんにちは」

第 104 回

独りぼっちにしてはいけないと悩む日々 怖いのは妻が残されてしまうこと

1年半前、左側下顎歯根嚢胞切除術を受けて、順調に回復を。
私自身には何ごともなく、過ごしてきたのですが…。

眠れぬ日々が続く

年離れた義父母の介護に追われる毎日を過ごしてきましたが、義父が逝去を――。

家事や諸手続きなどで、毎日があつという間に過ぎてきました。

そうした折、実は歯茎が何となく腫れぼったいことには、気がついていました。そこで、かかりつけの歯科医院で、根管治療と、切開による排膿も。

とはいえ、改善が見られず、歯根治療を専門とする開業医に転院をしました。パノラマレントゲン画像を見てすぐ、「病巣が大きいので、開業医の対象ではない」と。

大学病院を紹介されました。大学病院は初めてでしたので、緊張していたのか、血圧は驚くほど上昇をしたものです。

問診では、現在の病状と、経緯、過去の病歴、アレルギー体質かどうか、家系的に大きな病気がある人がいたか、がん家系かなど、詳細に確認されました。心疾患系、脳血管系、糖尿系などの確認も。

隣の診察室からは、「抗がん剤

を使っておられるので、免疫力が落ちています。新型コロナウイルス感染症による肺炎が心配なので、列車での移動は、特に気をつけてください」という声が聞こえてきました。そこでまた、血圧が上昇を。ともあれ、CTで精密検査しないと、今の段階では何ともいえないとのことでした。

いずれにせよ、検査待ちとなり、待つ時間の長いことながいこと。

口腔外科での担当の先生の言葉が1つひとつ気になり、最悪の場合を考え、今のうちにしておかなければいけないことを考え始めると、夜も眠れませんでした。

別の先生は、「炎症の再発だ」と話していたから大丈夫と、気持ちを慰めていたものです。

妻に頼り切られてきて…

覚悟を決めて、CTの結果報告を聞きに行きました。すると、1年半前に撮影したCT画像も取り寄せ、ベテラン先生と何度も見比べて、結論を。

歯根嚢胞の再発、つまり悪性ではないとのこと。今後は、第1回

目の手術で組織をとって精検、第2回目の治療を決めるので、時間がかかりそうです。

実は、ここまで結論が出るまでに、「もし、がん宣告を受けたら」と考えていました。

今まで、妻は、私に頼り切ってきたからです。

事業の事務処理、仕入発注、現金出納、預貯金管理、自家用車・不動産の諸手続き等々、関わってこなかったのです。

妻は、人生の目的を一気に失ってしまい、独りぼっちになってしまうという恐怖のため、交感神経が異常に興奮して血圧が上がり、良性だったと分かった後も、その異常興奮が続いてしまっていたのです。妻を思う日々です。

宮川薬局(宮城県仙台市)代表
薬学博士・薬剤師

みやがわとしじ
宮川季士先生

プロフィール

1976(昭和51)年、東北薬科大学(現・東北医科薬科大学)卒業。78(同53)年、同大学大学院修士課程修了。87(同62)年、薬学博士学位。地域に根ざしたおクスリ屋さんとして、多くのファンが。

「暑い夏、疲れ過ぎない工夫をしましょう」

